



p4cみやぎ2月研修会報告

オンラインによる p4c みやぎ2月研修会

2月25日(木)に、オンラインによる p4c みやぎ 2月研修会を行いました。今回は、研修Ⅰで、宮城教育大学 上廣倫理教育アカデミーの砂金みどりマイスターから「p4c で学級開き」というテーマでの講話がありました。

その後の研修Ⅱでは、2つのグループに分かれ、「ファシリテーターってなんだべねえ」というテーマで、話し合いを行いました。

【研修1】

[演題] 「p4c で学級開き」

[講師] 宮城教育大学 上廣倫理教育アカデミー 探究の対話マイスター 砂金みどり先生

【場所の設定】

円になっての自己紹介…閉じた形の良さ、コミュニティボールが見える良さ、互いの表情が分かる良さがある。

広い場所、事前事後の手洗い、換気、三密にならない、校長・保護者・職員の理解なども必要。

【準備物】

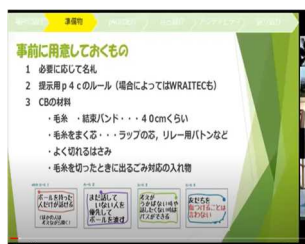
事前に用意するもの…名札、p4c のルール、コミュニティボールの材料。(毛糸にこだわることもよい。)

【p4c の流れ】

学級開きの主な流れ

- 1 p4c について説明
- 2 自己紹介をしながらボール作り
- 3 スピードボールで名前の確認
- 4 アクティビティで対話の練習
- 5 p4c を行う時間・場面の確認

(道徳等の教科、特活、総合的な学習の時間、朝・帰りの会など)



【自己紹介】

- 名前(呼び名でも)
- 部活動
- 好きな遊び、好きな教科、好きな～、うれしかったこと、どんなクラスにしたいか(学級目標決めにつながる)、生徒に聞きたいことを出してもらうのもよい。

【アクティビティで楽しく対話】

- スピードボールで名前の確認
- どっちが好き
- もしも～だったら
- ～って本当?

【振り返り】

振り返りを次の一步にする。

- 考えながら聞いたか。
- 安心して話すことができたか。
- 楽しかったか。 など



【研修2】

テーマ：「ファシリテーターってなんだべねえ」

【グループ1】

- ファシリテーターは、対話を促す役割。
- 対話をつないだり、深めたりするために、コミュニティの中で一番必死に聞く人。
- Dr. Jは、よくメモを取り、話を聞いている。パワーリスニングという言葉もよく聞くが、そういうことで、対話の糸口が見えてくる。

【グループ2】

- その子どもの発言を、バックボーンなどを踏まえて深く理解している人。
- 子どもの一番の理解者。p4c の自分と、授業のときの自分の違いを分かっている人。
- ファシリテーターは、導くのではない。本音を語れる場を作り出す人。

HP (<http://p4c-miyagi.com/>)

Mail (p4c@adm.miyakyo-u.ac.jp)